

広島市植物公園

見どころ案内

ヒメカンアオイ

(ウマノスズクサ科)

葉をかき分けると地表面に茶褐色の花があります。

マムシグサ

(サトイモ科)

雌雄異株。まさにマムシに似た苞をつけています。

マイズルソウ(ユリ科)

小さな白花が咲き、葉はハートの形をして2枚あります。

ムベ(アケビ科)

常緑つる性、雌雄異花。淡いクリーム色でわずかな香りを発しています。

シャクナゲ、ツツジ

(ツツジ科)

紅色や淡い桃色など、いろいろな品種が咲いています。

ヒスイカズラ(マメ科)

フィリピン原産の絶滅危惧種。宝石の翡翠(ひすい)に似た色をしており、棚から蕾や花が垂れ下がっています。

ハンキングバスケット

カスケードに、赤、白のゼラニウム、ペチュニアなどを使った巨大ハンキングバスケットがお目見えしました。

ハンカチノキ(ミズキ科)

中国原産の落葉高木。ほう葉が垂れて緑色から白色になってきました。ほんとうにハンカチのように見えます。昨年の実も少し残っています。

シヤガ(アヤメ科)

白い花が次々と開花し、数箇所に群生しています。

白ダルマフジ(マメ科)

白花美短(しろかびたん)とも呼ばれ、短い花房をいち早く開花させています。

チャンチン

(センダン科)

中国原産の落葉高木。薄ピンク色の新葉が珍しく、遠くから見ると花が咲いているように見えます。

ハナズオウ(マメ科)

中国原産の落葉低木。葉に先立って濃い赤紫色の花を咲かせ、遠くからでもよく目立ちます。

ヤマブキ(バラ科)

濃い黄色が、八重桜のピンクと対照的です。

モクレン・イエロー

リバー(モクレン科)

淡いレモンイエローの花を開花させています。

オガタマ(モクレン科)

香りが強い帯黄色の花を咲かせています。

ウラジロノキ(バラ科)

銀色の美しい新葉がでています。広島では、これを「シラナミ」と呼び、花材として生花に使います。

